



よろしくお願いします

ご入学・進級おめでとうございます。新しい学年の学習がスタートして1週間がたちました。昨日までに、全ての学年で1回目の体育授業がありました。

体育館に整列すると、「永井先生、久しぶりですね。」「永井先生、今年もよろしくお願いします。」と、みなさんの今年も頑張ろうという“気”が伝わってきました。授業が始まると「こんにちは。」と元気いっぱい友達とあいさつをしたり、友達と手をつないで支え合って運動したりと、体育館はいろいろな“気”で満ちあふれています。

「並ぶときに大事にしたいことは？」私が質問すると「う～ん。」と、考え込んでしまう児童がいました。真剣に考えていることに「やる気」を感じます。そして、何人かの児童が発言した後に、考え付いたことを立派に発表しました。自分なりの答えを導き出そうと「根気」よく考えたこと、そして「勇気」を出して発言したことなど、どれもうれしい“気”です。

子供達のたくさんの“気”を受け止めることができる体育の時間は幸せな時間です。今年度も体育専科教員として、担任の先生と一緒にみなさんの体育授業を行います。どうぞよろしくお願いします。

体育専科教員とは？

北海道の児童の体力向上、体育授業の充実などを目的として、平成25年度より道が行っている事業によって配置されています。全道で21名います。

- ①担任の先生と一緒に体育授業を行う
- ②体育授業で学ぶことが、しっかりと身に付くように授業を工夫する
- ③みんなが体を思いっきり動かせるように環境を整える などを行います。

永井先生とは？



永井悠介 (ながい ゆうすけ) です

- ▶啓北小学校6年目。先生になって10年目です。
- ▶昨年に引き続き体育専科教員になりました。私にとっては2年目の体育専科ですが、みなさんにとってはその学年での学習を通じて心も体も立派に成長する大切な体育授業です。これまでに学んできたことをすべて使って、昨年よりもよい体育授業をつくっていきたいと思います。
- ▶趣味は、読書とランニングです。
1年間に100冊、1か月に100kmを目標にしています。

学校では、みなさんから「体育の先生。」と呼ばれている私ですが、小さいころから運動が得意だったかと言えばそうではありません。はずかしい話ですが、小学校6年生のマラソン大会では、70人中で50番台でしたし、今まで行ってきたスポーツで全国大会に出場した経験もありません。運動能力も体力値もそれほど高くない私ですが、運動すること

つながる体育

する

見る

支える

は大好きです。小学校でも、中学校でも、高校でも、大学でも運動部に入っていました。大学では、体育の研究をして、中学校と高校の保健体育の先生の教員免許を取得しました。**運動は得意な人も、苦手な人もみんなが楽しめ、好きになれるもの**だと考えています。

目指す体育授業とは？

昨年一緒に学習したみなさんは、十分知っていると思いますが、体育授業では次の3つのことを大切にしていきます。

- ①全力で“する”体育授業
- ②しっかり“見る”体育授業
- ③友達を“支える”体育授業

体育と言えば、新しい技、難しい動きなどの技能面だけを高めればよいと考えられがちです。もちろん体育は運動学習ですので、技能の部分は大切になってきます。しかし、技能だけを高めることが主になると、トレーニングになってしまい、学習ではなくなってしまいます。

できるようにするために「わかる」「考える」「工夫する」ということが必要であり、できるようにするために、友達と「教え合う」「助け合う」「応援し合う」と関わることも必要です。つまり、できるようにする過程の中に、体育で学習する重要な内容がたくさん含まれているということです。

体育授業の中には、動く楽しさ、できる楽しさ、わかる楽しさ、集う楽しさ、かかわり合う楽しさ、種目の特性にふれる楽しさなど、たくさんの楽しさがあります。過程を大切にしたい体育授業を目指しますので、1時間の体育授業が終わった時には、「ただ楽しかった」ではなく、「競争しているときに、わくわくして楽しかった。」「支えてもらいながら挑戦して、できないことが少しできるようになって楽しかった。」といった、次の運動へつながる楽しさを感じてほしいと考えています。そして、中学生、高校生、大人になっても運動に主体的にかかわっていくことにつなげてほしいという願いがあります。そのため、体育だよりのタイトルを「つながる体育」にしました。

体づくりの運動とは？

1年生でも、6年生でも4月のこの時期は「体づくりの運動」を行います。実は、体づくりの運動は、中学校でも高校でも学習します。授業では、友達と手をつないでジャンプをしたり、ミニバレーのボールをトスし合ったり、新聞紙でリレーをしたり……。 「何を勉強するの？」と、考えた人がいるかもしれません。

みなさんの家族に小学生の時にやった遊びを聞いてみてください。缶けり、ゴムとび、縄跳びなどの遊びが出てくることでしょう。おじいちゃんやおばあちゃんが近くに住んでいる人は、おじいちゃんやおばあちゃんにも聞いてみてください。メンコ、陣取り、石けりなどの遊びが出てくるはず。そして、どの遊びもたくさんの仲間とのかかわり合いが必要であることに気付くはず。

何か気付きませんでしたか。体ほぐし運動では、みなさんの家族が小学生の時に経験してきたような遊びを通して、子供のうちに身に付けておくべき動きや友達とのかかわり方を勉強するのです。「なべなべそこぬけ♪」「あんたがたどこさ♪」もその一つです。



全身でジャンケン！